

立小の合言葉

たのしさいっぱい・ちからいっぱい・はないっぱい

職員室前の掲示板では、立小の合言葉に合わせて、子どもたちの良い姿を発信しています。

「たのしさいっぱい」コーナーでは、授業づくり・特別活動の視点から、「ちからいっぱい」コーナーでは、保健安全・体力づくり・生徒指導の視点から、「はないっぱい」コーナーでは、人権教育・環境教育・特別支援教育・教育相談の視点から、それぞれ、写真と言葉で掲示しています。

掲示板が更新されると、「ぼくのクラスや!」とか「お兄ちゃんが載ってる!」など、うれしそうにつぶやく子どもの声を聞くことができ、子どもたちが見てくれていることが伝わってきます。

ところで、「学ぶ」の語源をご存知でしょうか。いろいろな説がありますが、真似ぶ(まねぶ)であるという説があります。幼児は、見るもの聞くもの、すべてを模倣し、模倣することによって、経験を身につけ、これを能力化していくそうです。真似が、いつの間にか本物になっていく…まさに「学ぶ」とは真似ることだと言えます。武道でもスポーツでも経営でも、誰かを真似ることで自身の技量を高められることは、経験として実感されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

「学ぶ」とは、すなわち「成長」すること。

友だちの良い姿を通して、自分自身の成長につなげてほしいと願います。



たのしさいっぱい

足はピタ!背筋はピン!
姿勢よく毛筆学習に取りむ
姿がすごくいいね!



ちからいっぱい

元気いっぱい外に出て、友だ
ちと仲良く遊ぶ姿がすごく
いいね!



はないっぱい

てきぱき掃除!
ドアのみぞをピカピカに磨く
姿がすごくいいね!



朝、門のところに立って子どもたちを迎えていると、自分から進んであいさつをする子どもの姿、こちらが挨拶をすると、にこっと笑ってあいさつを返す子どもの姿、こちらがあいさつをしてもだまって通り過ぎる子どもの姿など、様々な姿が見られます。

あいさつは、コミュニケーションを形成するうえで大切な役割をもっています。子どもたちにあいさつの大切さを伝えるためにも、まず我々大人が手本を示していきたいと思います。

あいさつは、出会ったあなたのことを
「大切に思っています」
という最初の意思表示です。

(鎌田洋さんのことば)

